

人口減少対策を考えるワークショップ

みんなで考える住み良い江別の未来

in 江別まちなか仕事プラザ

令和6年8月28日（水） 江別まちなか仕事プラザ フリースペース
午前10時05分～午前11時35分

1 アクティブシニアが活躍できる街とは

・私の両親は50代だが、これから年齢を重ねていって、働くことを止めてしまうと、心も体も老けていってしまうのではないかと思います。定年退職の年齢を無くすとか、70歳以上の方でも積極的に雇用するような会社が増えたら良いのではないかと。

・私自身が60歳で定年退職し、68歳まで雇用延長などにより働いてきたが、仕事を終えた後に、最終的に「自分の好きなこと」ができる、いわゆる「第2の人生」をどう過ごしていくかということも大切だと思う。

・アクティブシニアの方々の活躍先は、就労や仕事に限らないのではないかと。働くだけが人生ではないと思う。

・社会貢献もそうだが、自分の思う通りの人生を過ごせるように、その人その人の活躍先があっているのではないかと。

・仕事も趣味も大切に、自分の好きなことをすることが元気の源になるのだろうと思うが、一人で楽しむだけでは生き生きしているような、活気があるような状態とは言えないと思う。人と人との関わり合いの中で、アクティブシニアの活躍先が増えていけば良いと思う。

・私は介護事業所に勤務しており、14名の職員がいるが、70代以上の方が4名いる一方で、若い世代が少ない。介護業界では、すでにアクティブシニアが活躍している。今後、様々な業種でも、同様にアクティブシニアに活躍してもらうための環境整備が必要になると思う。



・人口減少が進む中であって、人手が不足するところに、アクティブシニアの方々が上手くマッチングしていってくれば良いのではないだろうか。今の若い方々が好まないような仕事であっても、社会に必要不可欠な仕事は多くあり、アクティブシニアの方々が一部を担うことで、その姿を見て、後に続く方が育ってくれたらよいと思う。

・ご高齢の方は経験や知識が豊富な方が多くいらっしゃる、また、財力もある方も多いので、起業をしてくれるようになると地域が活性化するのではないだろうか。また、そのような姿を見て、若い世代も追随すると思う。子どもが小学校で農業体験などをさせてもらうが、そのような場所は子ども達にとって、とても貴重である。そこでは、経験豊富なアクティブシニアの方が活躍しており、子ども達にも重要な学び場になっていると思う。子どもからご高齢の方まで、多世代交流が江別市で進んでほしい。

・シニア層だけ、若い世代だけなど、一つの世代だけが活躍するようなまちでは、これから立ち行かなくなってくると思う。それぞれの世代が、それぞれ活躍できるようになることが重要ではないだろうか。ま

た、農業者を見ていると、ご高齢の方が多く、従事者が少なくて困っているようである。スマート農業などの導入もご高齢の方にはハードルが高いと思われるため、若い世代がデジタルに関する力を貸すことで、元気な高齢者が、さらに活躍できるようになると思う。アクティブシニアの活躍とは少しテーマがそれるが、江別市では日本人と文化が異なる外国人住民が増えているので、最初は接しづらいところがあると思うが、外国人住民の方も地域の一員として捉えてまちづくりを進める必要があると思う。

2 結婚・出産・子育ての希望がかなう街とは

- ・私には未就学の子どもがいるが、仕事をしていると、子どもが発熱するなど、どうしても急に休まなければならないときがある。私が勤めている職場は、子育てに理解のある方も多くいらっしゃると思うが、それでも「迷惑かけちゃうな。かけちゃったな。」と考える。子育てや育児に理解がある方が社会全体に増えて、パパ・ママも柔軟な働き方ができるようになったらいいと思う。
- ・大きな企業などでは、産前産後休暇や育児休業などを取得する職員がいる場合などに、すぐに代替職員を充てることができることがあるようだが、中小企業などでは難しいところもあるようである。先ほど、アクティブシニアの活躍という意見交換があったように、子育て・育児でお休みをする職員のフォローを、経験豊富なシニア層が行うことも考えられるのではないかな。
- ・私には子どもが4人いるが、高校、中学校、小学校、保育園とそれぞれ年代が違うため、学校行事にも参加することも非常に大変で、その都度、仕事も休んだり調整したりするのも苦労した。地域の行事や学校行事も、参加しないといけなような雰囲気もあり、子育て世帯に対して、社会全体がやさしく理解してくれたらいいと思う。
- ・結婚・出産をすることで、仕事やキャリアを失う可能性があると思って、結婚をためらう実態もあるのではないだろうか。結婚や出産に、社会全体が寛容になるとともに、子育てに理解のある企業が増えたら良いと思う。
- ・療育が必要な子どもの保育所が見つからないという方のお話しも聞くので、江別市は、どのような子どもでも、子育てがしやすい街であってほしい。
- ・二人目以降の子どもの出産にあたっては、妊婦健診もそうだが、出産時は母親が入院することになるため、父親と小さい子どもだけで母親の出産・入院を乗り越えなければならぬため、とても大変だった。二人目以降の子どもの産む家庭には、家族以外にも地域のサポートが必要だと思うので、江別市でもファミリーサポートの他にも子育てサポートがあると良いのではないかな。
- ・共働きで子どもが3人いるが、子どもが急病になると、どちらかが仕事を切り上げて学校に迎えに行かなければならないのは、なかなか大変である。江別市には、病児保育をしてくれるところが2箇所あり、非常にありがたかった。病児保育以外にも、ファミリーサポートなど、気軽に相談したり使えたりする地域の子育てサービスが増えると良いと思う。
- ・子育ての負担は相当に大きいので、地域や行政が一丸となって支える仕組みがあれば良いと思う。支えられた経験があると、ゆくゆくは自分が支える側になるなど、好循環が生まれてくるのではないかな。
- ・子育て世帯には、近年の物価高は非常に影響が大きく、子どもが多い世帯はなおさらである。昔に比べて、子育てにお金がかかると言われている。平均して、子どもは二つ程度の習い事をしているというが、実際に自分の家庭でも、子ども達の習い事はそれぞれ二つずつしている。これが、この後に学習塾などにも通うようになったら、一層お金がかかるのだなと実感した。物価や地価の高騰も直撃して



いるところであり、児童手当の拡充が予定されているが、上手なお金の使い方も考えないとならないと思う。



・子育て世帯は、経済面で不安がある。金銭給付をいただけたら理想的だが、自治体によっては、おむつや子ども服の支給などの支援や、給食費の無償化をしているところもあると聞くので、江別市でもそのような取組を実施してもらえたら嬉しい。

・江別市は市内に出産できる病院があり、初めての出産の際には、市内に通える産科があるということで、とても安心できた。今後も、江別市で出産・子育てする方々のために、市立病院には頑張ってもらいたいと思う。

・出産できる場所が市内にあるが、江別市立病院しかないため、もう少し選択肢があると嬉しい。環境の良いところを求めて、市外で出産する方もいるようである。私は、江別市立病院で出産したが、ごはんもとても美味しかった。

・学校の冷房の整備が完了していないことは大きな不満である。子どもたちが暑い中、顔を真っ赤にしながら授業を受けている姿を見ると、とても心苦しい。

・未婚の方の割合が増え続けているということだが、結婚の希望をかなえるという点では、難しさも感じている。昔は、地域の方が、「良い人がいるよ」と紹介してくれたものだが、最近はほとんど聞かなくなった。最終的には、結婚は個人の問題になっていると思う。

・出会いの場、結婚の機会の創出に関しては、江別市でも以前行っていた「街コン」を再開してはどうだろうか。

・結婚に関しては、社会のデジタル化が進み、効率が重視される世の中になってきていることや、様々な人生の楽しみ方が増えてきていることなど、そもそも彼氏・彼女は必要ないという若者も増えていていると聞くので、結婚をしない選択をする人が増えることについては、社会的にある程度、受容しないとならないのではないかな。

・子育て政策は、自治体単位ではなく、国全体として取り組まなければならない問題だと思う。結婚に関しては、若い世代の方が「家族を持つ」というイメージが湧かないという事が問題の根底にあると思う。結婚するとどうなるのか、子どもを持つとどうなるのかなど、自らのライフイベントに対する知識やイメージが不足しているため、結婚して生活が大きく変わることに不安を感じているのではないかな。

